

## 特別研究費評定基準

### 1. 評定要素ごとの評点

評定要素	項目	評点
① 研究課題の学術的重要性・妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか</li> <li>・研究構想や研究目的が、具体的かつ明確に示されているか</li> <li>・応募額の規模に見合った研究上の意義が認められるか</li> </ul>	4・3・2・1
② 研究計画・方法・経費の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか</li> <li>・研究計画を遂行する上で、当初計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況は考慮されているか</li> <li>・経費配分、経費内容は、妥当で必要なものか</li> </ul>	4・3・2・1
③ 研究課題の独創性及び革新性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究対象、研究手法やもたらされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか</li> </ul>	4・3・2・1
④ 研究課題の波及効果及び普遍性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該研究分野もしくは関連研究分野の進展に対する大きな貢献、新しい学問分野の開拓等、学術的な波及効果が期待できるか</li> </ul>	4・3・2・1
⑤ 研究遂行能力及び研究環境の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画に対する遂行能力を有していると判断できるか（過去の研究業績等）</li> </ul>	4・3・2・1
⑥ 本学ブランド力向上への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の広報活動に波及効果が期待できるか</li> <li>・本学の存在感を広く示すことが期待できるか</li> </ul>	4・3・2・1
⑦ 研究発表の遂行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な研究論文の執筆が期待できるか</li> <li>・学会などでの発表が期待できるか</li> <li>・セミナー、講演会などでの発表が期待できるか</li> </ul>	4・3・2・1

### 2. 評定基準

評点区分	評定基準
4	優れている
3	良好である
2	やや不十分である
1	不十分である